

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山高島校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 18日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 10月 18日		2024年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高い支援	支援プログラムの意見交換 内部・外部研修への積極的な参加 各職員の強みを生かしたきめ細やかな支援の意識	必ず参加する研修だけでなく、自由参加型の内部研修や地域の外部研修にも意識的に参加する
2	職員全員で全ての利用者様をサポートする意識	指導員同士の積極的な意見交換 フィードバック中の利用者様の様子の観察 など イベントなどに実施により、より多角的な視点で考えることができる	担当する指導員が一人に固定化しないための取り組みとして、支援の見学、支援の交代などを引き続き進めていく
3	指導員同士の連携	指導員同士の積極的な意見交換 フィードバック中の利用者様の様子の観察 など イベントなどに実施により、より多角的な視点で考えることができる	担当する指導員が一人に固定化しないための取り組みとして、支援の見学、支援の交代などを引き続き進めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様の担当職員が固定化されがち	開所当時から担当制の方針で運営されており、その方針を変更するには時間がかかる	担当する指導員が一人に固定化しないための取り組みとして、支援の見学、支援の交代などを引き続き進めていく
2	外部の各機関との連携が弱い	日常の業務の多忙さから、外部へ意識を向ける余裕がなかった (特に管理者)	管理者も他の職員も、意識的に外部機関へ足を運ぶようになる
3	児童発達支援の利用者様の減少	外部機関、特に幼稚園、保育園、こども園や医療機関等への外部連携が疎かになっていた	管理者も他の職員も、意識的に外部機関へ足を運ぶようになる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 10名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	0	個別に集中できるようなしっかりした仕切りや活動しやすいスペースがもう少しあるといい。	必要に応じて、パーテーションの配置を変えるなどの工夫を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	0	習慣で覚えていくものもあるが、置き場所や活動それぞれに視覚的要素がもう少しあってほしい。	視覚的に配慮が必要な利用者様に向けて、より意識的に視覚的配慮を行っていく。例えば、その日のプログラムをホワイトボードに書く、タイマーで時間の確認をするなど。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0	児童発達支援計画（個別支援計画）のコピー（保護者用）がほしい。	必要な方に向けて、個別支援計画のコピーをお渡りする。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0	考えていただいているが、内容や量が物足りないと感じる時もある。	今後も工夫を重ねていく。
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	1	2	イベントの様な形で、他校（きらりの他の校舎）の利用者が集まれる場があり、何度が参加させていただいた事があります。保育所等との交流があるのかどうかは分かりません。イベントがあれば参加したい。	今後、地域住民が参加できるイベントも検討していく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0	児童発達支援計画へサインしても控えないのでほしい。	必要な方に向けて、個別支援計画のコピーをお渡りする。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0	毎回15分程度、先生と保護者が話す時間があり、当日の支援の様子を聞いたり、気になる事を伝える事が出来ています。こまめに子供の様子を気にかけてくださる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0	就学先の相談など何度もさせていただいた。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0	子供の気持ちも親の気持ちも考えてくださっていると思う。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	0	2	0	保護者会があれば参加したい。	今後のイベントで計画していく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	0	他の事業所とも連携してもらっている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0	先生と保護者とのお話し時間では、他の先生が子どもの事を別の場所で見てくださいって、本人が居る場所では話づらい内容でも話す事が出来ています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	1	3	見る機会がない	ブログやInstagramなどの周知を行う。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	1	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	朝、予定確認をすると嬉しそうにしている いつも楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	駐車場で待つのが難しい場合、支援中から共用スペースで待って良い。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山高島校	公表日	2025年 2月 15日
------	---------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1日10コマをキープしている。 利用者さん1人につき、1つ個別ブースがあるようになっている。 イベントなどで利用人数が増える際にはパーテーションなどを動かしてスペースの調節をしている 安全に支援ができるように、環境の整備を継続している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	職員の公休日や有休使用日を調整しながら、基準人員を下回らないようにしている。 一名退職したため、人員不足だと思われる。 常にある程度の余裕をもって営業できるようにソフトを調節している 利用者さんの情報を職員内で共有できている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関までの階段の段差にカラーテープを貼り、転倒や飛び出し防止のための配慮を行っている。 パーテーションでしきられている。 伝えたい情報はわかりやすく掲示できている。	掲示物など、もう少し視覚刺激を減らした方がよい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	ほぼ毎日、朝礼後に掃除を行っている。 毎朝、掃除をしている。机上作業や運動で、スペースを調整している イベント、運動など場面によってスペースを調整している 朝礼後の掃除を継続できている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別の支援スペースとなるよう、パーテーションで区切っている。 療育機の導入により個別のスペースが設置された。 朝礼で、当日の支援の場所の打ち合わせを行っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝礼時に前日の支援の振り返りを行い、改善点があればその場で話し合っている。 定期的にミーティングを行っている。	振り返りができていないことがある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年年末に事業所評価アンケートを実施し、それを集計するとともに、内容の考察、業務改善につなげている。 保護者へのフィードバックを行っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員向けの事業所評価を行っており、業務改善につなげている。 定期的な教室内でのミーティングが行われている。 普段から意見を言いやすい環境になっており、その都度みんなで話し合いを行い、実行できている。 個別の面談を積極的に行う。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	社内監査、意見交換を継続している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	内部、外部ともに研修する機会を確保している。 毎月、様々な研修が開催され、受講している。	社内の研修に参加できるよう、調整する。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	スタッフ内で共有している。	支援プログラムの公表については順次行っていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	毎年1回、全利用者様を対象にアセスメントシートの作成を行っている。 保護者との面談はしっかりと行うようになっている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	指導員と児童管とで支援計画の作成に向けての話し合いを行っている。 スタッフが自覚を持ってミーティングに参加している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	全職員で参画できている。 計画に沿って、プログラムを作成し、支援を行っている。 支援の内容についての会話をしっかりと行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	標準化されたアセスメントツールを使用している。 他事業所を研究するなど、評価項目についての知見を広げている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各項目について、支援計画に明記している。 複数の職員で内容を確認している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	不明点があれば職員間で相談し合う環境が整っている。 個人で立案しているが、課題や活動の共有は行っている。 定期的イベントを行う等、スタッフ全員で立案を行う機会を持っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎回の支援プログラムを考案している。 担当を固定しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	日常の個別支援に加えて、定期的に小集団支援を実施したり、イベント開催による集団活動を取り入れたりしている。 学校との連携、保護者からの情報を統合し、支援につなげている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日の朝礼時に確認を行っている。 朝礼で確認をしている。 朝礼の議題としている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	毎日の朝礼時に振り返りを行っている。 朝一でミーティングが行われている。 当日ではないが翌日に打ち合わせや振り返りを行っている 朝礼に情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援実施後、数日以内に記録を書くことを意識している。 毎回の支援後に記録を書き、次につなげている。 記録のゆげがないか、確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	最低6か月に1回、全利用者様を対象にモニタリングを行っている。 見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当している指導員や発達支援士が中心となって参画している。 基本的には、管理者発達支援士と担当指導員が参加している。 担当制を促めたことで担当支援の調整ができるようにし、担当者会議や関係機関との会議に出席できるようにしている 理解した者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		今年度はあまり訪問ができていないが、随時行うようにしている。 もっと体制の整備を進める必要がある 連携を試みている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	利用者様、保護者様の状況に応じて実施している。 支援内容等の情報共有は積極的に行っている。	支援内容等の情報共有と相互理解が不十分
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	状況に応じて実施している。 相談員さんもしっかり情報収集をしている。	支援内容等の情報共有と相互理解が不十分
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		あまり実施できていない。 児童発達支援センターとの連携、スーパーバイズや助言等を受ける機会の設定ができていない 今後の課題。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	定期的な営業訪問。	外部に向けたイベントを実施することがあるが、今年度はまだ実施できていない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回の支援後にフィードバックを行っている。また、必要に応じて事業所内相談を実施している。 毎回、支援後にフィードバックの時間を設定している。そこで、支援内容や様子をお伝えし、保護者の方から家や園での様子などの聞き取りを行っている。 フィードバックを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	必要に応じて支援を見学していただき、支援内容に基づいたアドバイスを行っている。	積極的な姿勢をしっかりとつち。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	支援後のフィードバック時にお伝えしている。 行っている。	職員全員が運営規程の理解を深め、説明できる必要がある	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成時に保護者様へ説明を行っている。 フィードバック時、説明をしている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	契約時や更新時に説明を行っている。 フィードバック時に行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて事業所内相談を行っている。 面談、情報提供を積極的に行っている 複数の指導員で対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	公民館の父母の会との連携により、保護者様同士で話し合う機会を設けた。 定期的にイベントを企画している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	管理員だけでなく、全職員で対応を行っている。 柔軟に業務の調整を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	ホームページやLINE、Instagram等で発信を行っている。 チームで動いている。	情報発信の機会をもっと増やした方が良い
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約時に個人情報取り扱いについて保護者様へ説明している。 個人情報は、鍵付きのロッカーで保管するようにしている。 知識の共有を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードの使用。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	公民館との連携により、自校舎やアクセスジョブとの交流を行った。 イベントによっては、利用者さん以外も参加可能になっている。 定期的に交流を持っている。	地域住民との交流の機会をもっと増やした方が良い
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	毎月訓練を行っている。 計画的に実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPの作成、及び訓練を行っている。 毎月、テーマをかえて、防災訓練を行っている。 計画的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	契約時やイベント前等に確認を行っている。 体調管理を継続している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	食べ物を扱うイベント開催時に確認を行っている。 食物アレルギーの確認は行っている。 情報共有を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	定期的に訓練、研修、振り返りを行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	ブログなどで周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に数回実施している。 定期的に、研修を受講し、普段から意識している。 気になることがあった場合、情報共有をスタッフ間でやっている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	記載している。	